



# FUKUSHIMA 市民インタビュー

このコーナーでは、福島市のさまざまな分野で活躍する人や団体を紹介します。今回は、8月から福島市の国際交流員として、外国語での情報発信や国際交流事業の企画・立案の協力、海外からのお客さんの接遇・通訳などを担うオーストラリア出身のルイス・アデル・キャロルさんにインタビューしました。

## 福島市にきた経緯は？



福島市国際交流員  
ルイス・アデル・キャロルさん

日本に興味を持ったきっかけは、中学生の時に見た日本のアニメ「美少女戦士セーラームーン」です。それから日本語の勉強を始めました。その後、日本の高校生をホームステイで受け入れたことで日本とのつながりが強くなり、私自身も福井県の高校に一年間留学しました。大学でも日本語を専攻し、日本への理解を深めてきました。

オーストラリアでは、福島というと、今でも東日本大震災のイメージが強いです。そこで、せっかく日本で働くのなら、震災からの復興の役に立ちたいと思い福島に来ることを決めました。

## キャロルさんの故郷はどこなところ？

私が生まれ育ったのは、シドニーから車で1時間ほどのウロンゴンというまちです。

ウロンゴンは山と海に

囲まれた美しいのどかなまちで、近くの野原を散歩していると、きれいな鳥やワラビーに出くわしたりもします。自然豊かな福島市は、故郷の雰囲気と少し似ていますね。大学はメルボルンのモナッシュ大学に行きました。メルボルンは、芸術や音楽にあふれる文化的なまちです。また国際色も豊かで、あらゆる国の料理が楽しめます。皆さんもぜひ旅行してみてくださいね。

## 福島市に来ての感想は？

福島市は、自然がとても多く、家の近くの阿武隈川のほとりは、涼しくお気に入りの場所です。まちの中に大きな信夫山がそびえているのもびっくりです。また、友人からは、福島の人には優しくて住みやすいと聞いていましたが、本当に皆さんがとても優しく接してくれます。

これから、果物狩りや磐梯吾妻スカイライン、温泉など福島市の魅力を満喫していくつもりです！そしてたくさんの方と福島市の人たちともお話ししたいです！

## 国際交流員として挑戦したいことは？

やはり、復興に貢献し

たいです。特に、福島に来てくれた外国人に、観光客だけでなく、日本人の普通の生活がどんなものなのか体験して欲しいです。さらに住民とのふれあいを通じて、大都市や観光都市では味わえない、福島市ならではの経験をしてもらいたいです。海外から多くのお客さんを福島市に呼び込めるような、そして来てくれた観光客に喜んでもらえるようなアイデアを出していきたいです。

## 将来の夢は？

日本と海外の文化交流関係の仕事をしたいです。国際交流員としての任期(3~5年)後も日本に残るかどうかは未定ですが、日本や福島のことをもっと世界に知ってもらえるような仕事に関わりたいです。



写真右上…8月のわらじまつりの会場にて/左下…故郷ウロンゴンの大自然の中で



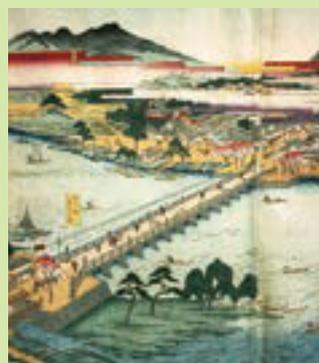
## We Love ♥ ふくしま!

### 第8回『ほしん戊辰150年』

今年が戊辰150年。県内各地で記念事業が展開されている一方、明治維新の中核を担った薩長土肥由来の4県は明治維新150年、北海道は命名150年を祝っています。幕末から明治にかけての歴史の捉え方は、地方によって異なります。会津藩、二本松藩にとっての戊辰戦争は、白虎隊や二本松少年隊の壮絶な最後に象徴される「義」を貫く戦いです。加えて白河のキーワードは「仁」。城主不在の白河城を巡る東西両軍の激戦は多数の戦死者を出しました。今も白河の人々は、両軍隔てなく丁寧に弔い供養しています。その「仁」の心は西軍にも伝わり、戦死者の霊を慰めるための「白河踊り」が、今もお山口県内80余りの地区で踊り継がれています。

では、福島藩にとっての戊辰戦争のキーワードは何だったのでしょうか？仙台・福島藩士による、新政府軍下参謀世良修蔵の暗殺事件(P2・3参照)が起き、奥羽越列藩同盟の成立

から東北諸藩の徹底抗戦へと向かわしめ、東北戊辰戦争の引き金を引く舞台となったといえるでしょう。しかし、福島藩士は戦火にまみれる前に、黒岩村森谷岩松を案内人に二本松城へと潜行して降伏の流れをつくり、また開城されたまちを町民が守り、その後の福島市発展につながったという点では、「和」と「民」が福島市の戊辰戦争のキーワードにも思えます。「民」の動きは、後の自由民権運動にも通じます。歴史はそのまちの



▲戊辰の戦火を免れた福島は県都として発展を遂げていきます

重要なアイデンティティの1つであり、それを知ることによって愛着を高め、また他都市との友好を深められます。戊辰150年、改めていろいろな角度から歴史を振り返り、市内に多数存在する史跡を巡るのもいいでしょう。本市では、ゆかりのある長楽寺での展示、演劇公演、記念講演とシンポジウムなど、戊辰150年記念事業を実施します。ぜひご参加ください。

福島市長 木幡 浩